

# ハラールという戦略上の選択肢 حلال

## データで読み解く訪日ムスリム客の動向

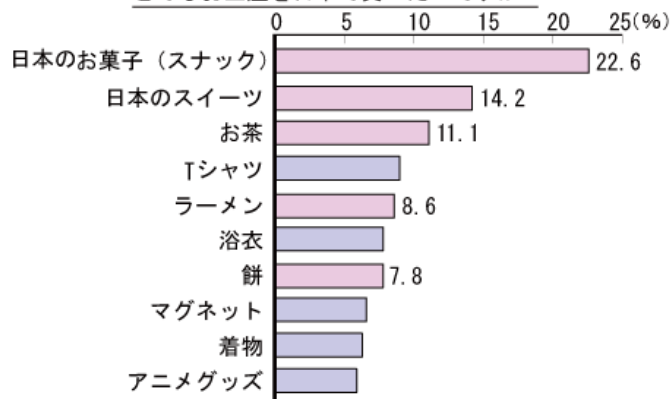
### 第8回

日本から海外に出張する際に、お土産に悩んだことはありませんか。そのお土産がムスリム（イスラム教徒）へのものとしたら、何を買えばよいのでしょうか。増え続ける訪日ムスリム客にとっても、旅の最後の悩みはお土産です。ハラールに対応した飲食店が増える中、母国へ持って帰って喜ばれる日本のお土産として、彼らは何を選んでいるのでしょうか。今回は日本からの出張者にも役立つ、訪日ムスリムのお土産事情をご紹介します。

### 日本の味、手軽に買えるお菓子が人気

日本ならではの食べ物が上位を独占、  
素朴な味をお土産にしたいというニーズが強い

どんなお土産を日本で買いたいですか？



データ：ムスリムフレンドリーインフォメーションジャパン調べ  
まずご紹介するデータは「どんなお土産を日本で買いたいですか」という質問に対する回答です。これはハラールメディアジャパンが運営しているフェイスブック・グループ「ムスリムフレンドリーインフォメーション・イン・ジャパン」の調査によるもので、同グループには在日ムスリム、海外ムスリム、ハラール市場関係者の約4万人が参加しています。

ランキングの1位はお菓子（スナック）、2位はスイーツ、3位がお茶となりました。5位のラーメン、7位のお餅と合わせ、食べ物が64.3%を占めています。この数字は、観光庁による「訪日外国人消費動向調査」（2014年）で物品購入額に占める菓子類の割合が63.6%だったのとほぼ同水準ですが、いずれにせよ日

本の味をお土産にしたいというのが、訪日観光客全体の思いだといえます。

では、ムスリムが購入している菓子類の多くがハラール認証を得ているのかというと、そうでもありません。塩やノリだけを使った米煎餅やあられ、天然酵母のまんじゅう、蜂蜜味のスイートポテトなどは、ハラール認証を得ていなくてもムスリムに買われています。ハラール認証は、食品加工が複雑になったことで、何が入っているのか、何を使っているのかを知りたいといったニーズが生じ、それに応えるために生まれたものですが、昔ながらの素朴な菓子類は余計なものが入っていないので、心配する必要はないと考えられているでしょう。

### 待たれるブランド菓子のハラール化

「日本の『キットカット』はハラールですか？」。ハラールメディアジャパンを開設した当初、一番多く寄せられた質問がこれでした。キットカットはスイスのネスレ社が製造している世界的なブランド菓子ですが、調べてみると、日本のキットカットにはハラールマークがない上、季節限定ものや地域限定ものが数多く販売されていることが分かりました。マークがないものをハラールだとは伝えられませんので、ハラールメディアジャパンでは日本語の成分表をできるだけ詳しく英訳して情報提供しましたが、それを見て購入するムスリムもいれば購入しないムスリムもいることが分かりました。購入しないムスリムは、ハラールではないものをお土産として買って帰るのには、慎重にならざるを得なかったのでしょう。

キットカットに次いで問い合わせが多かったのが、グレープストーン社（東京）の「東京ばな奈」です。インドネシアで類似品が出回るほどの人気商品ですが、本稿執筆時点でハラール認証は取得していません。成分表によると一部商品に洋酒が使われていますので、食べたくても食べられないといったムスリムもいます。空港でお土産として購入するムスリムが多数いる一方で、「ハラール化してほしい」という声も少なくありません。

北海道の名産品「白い恋人」もハラール化が待たれる商品です。国内では超ロングセラーのこの洋菓子も

まだハラール認証は得ていませんが、成分を英語で表記するなどして訪日観光客に対する情報開示を進めています。手頃な価格、美しいパッケージ、甘くて優しい食感といった、お土産に最適な要素を備えているこの商品は、ヨックモック社（東京）のシガールに続く世界ブランドになる可能性を秘めている、と主張するムスリムもいます。

## スーパー、空港、免税店、そしてカフェでも？

ハラールメディアジャパンの調査で、訪日ムスリムがお土産を購入する場所としては、スーパー、空港、免税店の3カ所が多いという結果があります。価格の安いスーパー、最後のチャンスとなる空港、品揃えが豊富な免税店、といったところでしょうか。スーパーでは来日中に自分が食べてみておいしかったもの、空港ではお土産として有名なもの、免税店ではハラール認証品を求める傾向があるようです。

意外な購入場所としては、東京駅のカフェがあります。ハラール認証を取得済みのバームクーヘンが販売されており、一般客に混じってムスリム客が購入しているそうです。かくいう私も、先日訪日したムスリムの友人からお土産として一ついただきました。彼は「日本でハラールのお土産を買えるなんて、今でも信じられない」と言っていました。この言葉通り、日本で

のハラール対応はまだ始まったばかりなのです。

今回は世界的に注目されているムスリムファッションについて取り上げます。意外と知らないその中身と市場動向について、また11月に開催される日本初のムスリムファッションショー「TOKYO MODEST FASHION SHOW」の見どころについてご紹介します。

### <筆者紹介>

横山真也

Yokoyama & Company (S) Pte Ltd マネジングディレクター

ハラールメディアジャパン株式会社 共同創業者  
ハラール関連事業としては2014年元日に「世界初の英語発信による日本ハラール専門ポータルサイト」HALAL MEDIA JAPAN を開設、同年にはハラール・ベジタリアンレストラン検索サイト・アプリ HALAL GOURMET JAPAN をサービスイン。国内初の国際的ハラールイベントである JAPAN HALAL EXPO を14年と15年の2年連続で幕張メッセなどと共催。今年新たに HALAL EXPO JAPAN 2016 として単独開催、日本初のムスリムファッションショーである TOKYO MODEST FASHION SHOW を併催し、1万人を動員する。



smartphone

アジア経済ビジネス情報を  
スマートフォンで！

NNA POWER



有料Webサイト「NNA POWER」をご契約中であれば追加料金は発生しません

世界中で7,000社が活用

アジアで勝ち抜くための必須の情報ツール

現地発の情報をスピーディに配信、月～金曜日まで毎日約300本の記事が更新されます。  
統計データや税務、労務の専門家の解説も掲載し、貴社のビジネスを強力にサポートします。